

<平成26年度>

# 事業計画書

(自平成26年4月1日～至平成27年3月31日)

公益財団法人 聖山会

<公益財団法人 聖山会>

## 平成26年度 事業計画書

### I. 事業活動方針

平成25年度の日本の政治・経済は、自民党安部政権の誕生により政局の安定感、経済の回復の兆しが見えつつある中、依然として厳しい経済状況下にあります。また、北海道経済においても経済の回復状況は依然として厳しい状況下にあります。

平成26年度は4月に消費税の値上げ（5%→8%）をはじめとして、国民生活において更なる負担増が懸念される様子を呈しています。

こうした状況下、当財団の墓地経営は平成25年度、過去最低の売り上げとなり、非常に厳しい経営内容となっております。平成26年度は現状のきびしさにどのように立ち向かい、引き続き公益性の確保とその継続、更に健全で安定した経営につとめることを基本に次の事業に取り組むこととします。

1. 公益財団法人としての運営・管理体制のさらなる確立
2. 市民ニーズの多様性に対応する墓地販売計画の検討
  - ①財団内に営業部門を設ける
  - ②新商品の開発による新規顧客の開拓
  - ③合葬墓の建立
  - ④販売増に向けた経営戦略の展開（広告媒体等の活用）
3. 長・中期経営計画の策定
4. 墓地の施設・設備の長期修繕計画の策定
  - ・水道設備の改修
5. 墓地利用者に対するサービスの充実
6. コンピューターシステムの稼働・・・平成26年4月より
7. 墓地拡張計画の検討（継続案件）

### II. 事業計画

#### 1. 墓地販売計画

札幌市における墓地需要の動向は、需要者ニーズの多様化により屋外にある墓地（墳墓）に加え、屋内型の墓所や納骨堂の需要増、さらにはお墓に対する考え方が大きく変化してきています。

平成26年4月からは、消費税が5%から8%にアップすることにより、販売において昨年同様厳しい状況下にあります。

こうした状況を踏まえ、今年度は墓地需要者のニーズに応えるべく新たな商品開発をはじめ、使用者の利便性や安心・安全に配慮した環境重視の墓地公園を提供していきま

す。

<墓所・墓石販売目標>

- ・普通・芝生墓所・・・公益事業

4 m <sup>2</sup>	5 m <sup>2</sup>	6 m <sup>2</sup>	9 m <sup>2</sup>	芝生	合 計
135	27	2	1	15	180

※5 m<sup>2</sup>区画（27）には、建上墓石27基分を含む

- ・建上墓石（財団所有）・・・収益事業

5 m<sup>2</sup> 27基 ※墓所数（27）は、普通墓所に含む

4 m<sup>2</sup> 15基 ※芝生墓地

4 m<sup>2</sup> 14基 ※16区建て上げ墓石

<墓石建立目標>・・・収益事業

- ・合計 209基

（4 m<sup>2</sup>・・・166基、5 m<sup>2</sup>・・・25基、6 m<sup>2</sup>・・・11基

9 m<sup>2</sup>・・・6基、12 m<sup>2</sup>・・・1基）

※指定石材店の協力を得ながら、販売目標の達成を目指します。

## 2. 霊園等の維持・管理計画

### ①維持・管理・・・公益事業

霊園の全体管理については、施設の維持と環境整備を重視し、常に霊園全体の清潔感が保たれるよう管理を行います。

また、本霊園は開設から30年を経過していることから、施設及び設備に不具合が生じたときには、適時にメンテナンスを施してまいります。

<今年度の目標>

- ・水道設備の改修
- ・擁壁部分の補修工事の実施
- ・施設・設備の長期修繕計画の策定

### ②管理料の徴収業務・・・公益事業

管理料は、霊園全体の健全な運営と維持・管理、そして永続性を支える重要な資金であります。管理料滞納者に対して、今後とも適切に対処してまいります。また、滞納者が出ないように対策を講じるなどの啓発活動を行います。

### ③コンピューターシステムの稼働

今年の1月よりコンピューターの新しいシステムを導入し、4月より本格的に稼働

する体制であります。これにより、顧客管理及びすべてのことが一元管理できるようになり、霊園管理がスムーズに運営されるよう活用していきます。

### 3. 受付、窓口業務の運営

墓所使用者、墓参者及び来園者に対して、行き届いたサービスをはじめ、諸手続等に訪れた方たちに対し、真心こめて親切丁寧に対応します。

## III. その他事業計画

### 1. 公益財団法人の管理・運営体制の確立

- ①諸規定集の見直し
- ②内部組織体制の改革（営業部門の創設・強化）

### 2. 中・長期経営計画の策定

財団内に委員会を設置し、中・長期経営計画を策定し未来永劫墓地経営を安定的に継続できるように取り組みます。

### 3. 墓地拡張計画の検討（継続事業）・・・公益事業

### 4. 一時預り合葬墓の募集・販売・・・公益事業

平成26年度に事業化

- ①当霊園にお墓をもっている方を対象とした合葬墓
- ②新たに合葬墓を求める方を対象・・・合葬前に一時預りを行う

### 5. 商品開発の検討・・・公益事業

- ①納骨堂の事業化に向けた取組み（市街化区域、墓地区域内）
- ②墓地需要者ニーズに応えた商品の開発（樹木葬、壁式墓地等）

### 6. 販売増に取り組む経営戦略の展開・・・公益事業

- ①広告媒体の活用（営業用リーフレット等）
- ②会員組織への営業